

# 橋梁の対津波設計に関する 研究小委員会

2015(平成27)年6月～2017(平成29)年5月(2年間)

委員長

副委員長

幹事長

伊津野 和行 (立命館大学)

幸左 賢二 (九州工業大学)

竹田 周平 (福井工業大学)○

# 目的

- 橋梁に対する津波作用については、各機関で実験や数値解析がさかんに実施されているものの、いまだ対津波設計手法は確立されていない。さらに漂流物による影響については、まだ基本的な考え方も整理されていないのが現状である。
- 本研究小委員会では、橋梁の対津波設計に関する諸課題を整理し、津波に対する橋梁設計の考え方について広く情報を発信することを目的として設立された。

# 委員

- 委員長 伊津野 和行（立命館大学）
- 副委員長 幸左 賢二（九州工業大学）
- 幹事長 竹田 周平（福井工業大学）
- 幹事 中尾 尚史（土木研究所）  
川崎 佑磨（立命館大学）
- 委員 計22名
- 委員の専門分野
  - 地震工学
  - 応用力学
  - 水理学

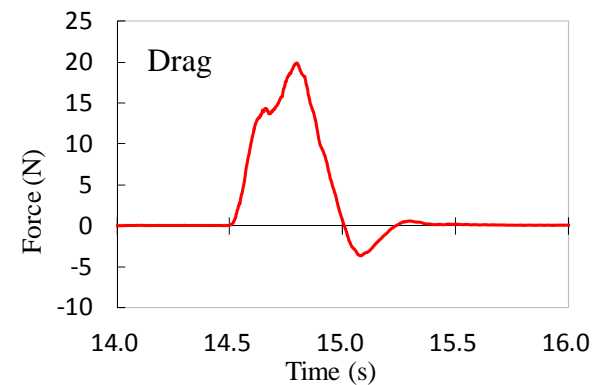
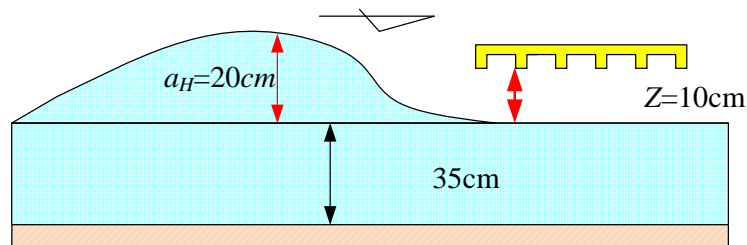
# 活動内容

- 橋梁に作用する津波に関する模型実験をいくつか選定し、緒元を明らかにした上で数値解析のベンチマークテストを行う。
- 橋梁と建築物や防波堤など他の構造物との、津波作用の相違点を明確にして整理する。そのうえで国内外の設計津波力を比較して、それぞれの考え方を適用した場合の、橋梁試設計を行う。
- 最終的な成果としては、橋梁の津波対策ガイドライン案としてとりまとめる予定。

# ベンチマークテスト

## ■ 課題1. 孤立波による橋桁への作用力

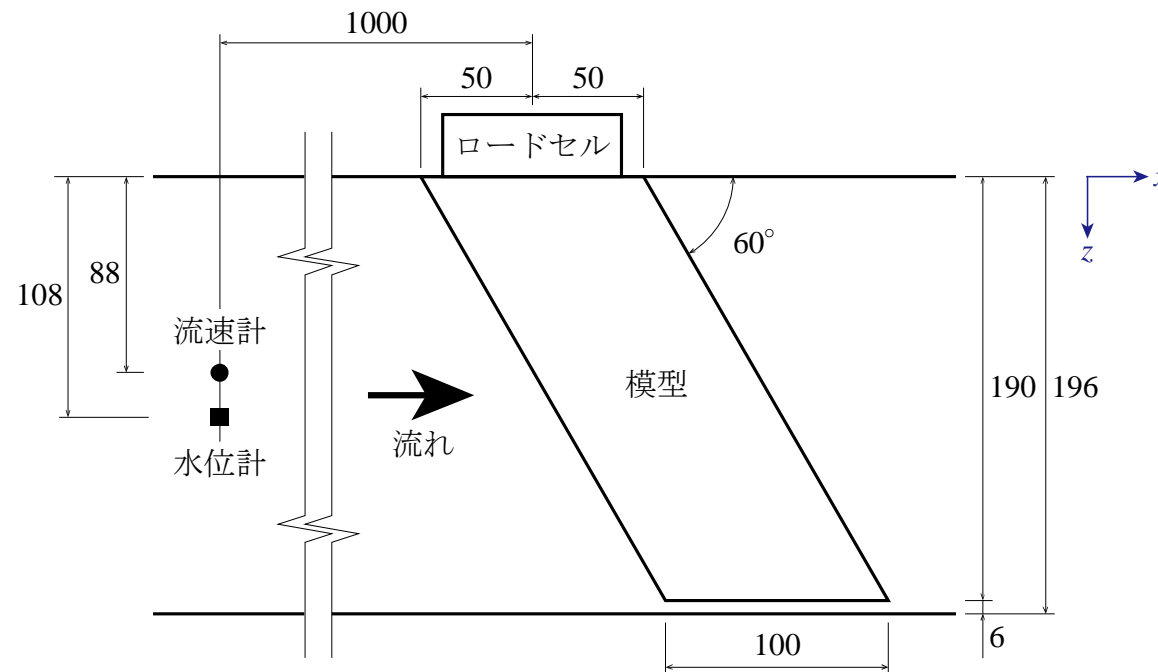
- 九州工業大学で実施された実験の、橋桁への作用力(あるいはその最大値)を求める.
- 結果が公表されている問題で、推定精度を向上させるための工夫や注意点について、知識の共有を図る.



# ベンチマークテスト

## ■ 課題2. 斜橋に対する津波作用力

- 立命館大学で実施された斜橋に関する実験の、橋桁への作用力(あるいはその最大値)を求める。
- 実験結果は当日まで公表しない。各手法の優劣ではなく、違いについて参加者で議論する。



# これまでの活動

- 第1回委員会：2015年6月12日 京都
  - 活動方針に関する審議
- 第2回委員会：2015年9月10日 土木学会
  - ベンチマークテストの内容に関する審議
  - 自治体における橋梁の対津波照査に関する話題提供
- 第3回委員会：2015年12月3日 京大防災研
  - 京都大学の実験施設見学
  - ベンチマークテストの実施概要に関する審議
- 第4回委員会：2016年5月 早稲田大学にて予定
  - シンポジウムの開催に関する審議

# シンポジウム

- 橋梁等の対津波設計ベンチマークテストに関するシンポジウム
- 8月に土木学会にて開催予定
- ベンチマークテストの課題に対して、参加者から手法および計算結果の発表
- 各手法における工夫や注意点に関する知識の共有. 各手法の違いに関する理解.
- 詳細は小委員会のホームページで告知  
<http://committees.jsce.or.jp/eec209/>